

岡崎市自然環境保護区

北山湿地

KITAYAMA SHICCHI

【北山湿地の概要】

北山湿地は岡崎市池金町地内の標高170~190mの尾根の谷間にあります。低い山ひだの間々から幾筋もの小流がゆるやかな傾斜をもって流れ出ており、この小流が各所で停滞するため10数個の湿地が成立しています。ここは、市内ではもっとも古くから残っているミズゴケ類を主体とする湿地群です。

北山湿地は、食虫植物のモウセンゴケ、トウカイコモウセンゴケおよびミミカキグサ類をはじめ、ミズギクやコバノトンボソウなどが生育しています。また、ミカヅキグサ、ヤマドリゼンマイの優占地もあり、ハルリンドウ、キセルアザミ、ミズギボウシ、サワギキョウなどもみられます。

昆虫類では湿地特有のハッチョウトンボやヒメタイコウチなどが分布しており、ホトケドジョウやタゴガエルなども生息しています。

この豊かな自然に恵まれた、北山湿地の四季折々の自然のいとなみを体やかに感じてください。

【北山湿地を訪れる方へのお願い】

北山湿地には、湿地固有の貴重な植物や昆虫類・小動物類がみられます。また、個体数や分布の限られたものが多いため、わずかな環境の変化が生態系を乱して絶滅に追いやることとなります。そこで、平成21年2月27日岡崎市自然環境保全条例に基づく自然環境保護区に指定しました。

湿地は自然のいとなみの縮図でもあります。その生態系を乱さないように静かに接することによって、可憐な植物や小さな虫たちを守り、岡崎のふる里の自然の姿を観察していただきたいと思ひます。

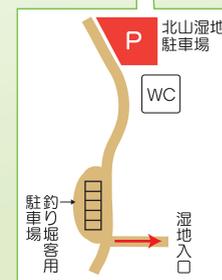
湿地内にむやみに踏み込んだり、植物を採取したり、昆虫類を採集することは禁止しています。これに違反した場合には、罰則が科されることがあります。

湿地内に「持ち込まない」「持ち出さない」「踏み込まない」の三原則をかたく守ってくださるようお願いいたします。

【交通のご案内】



■ は北山湿地の看板です。



■お問い合わせ

環境部 環境保全課 自然共生班

〒444-8601 岡崎市十王町二丁目9番地

TEL 0564(23)6188 FAX 0564(23)6536

e-mail : kankyohozen@city.okazaki.lg.jp

岡崎市

北山湿地を代表する 生き物



ギフチョウ **NT** 岡崎市指定希少
野生動物植物種
(3月下旬～4月下旬)
里山の春の女神と呼ばれ、湿地入口
～やなが沢池周辺で多くみられます。



ハッチョウトンボ
(6月～8月)
体長は約18mm。A湿地に生息している
日本でもっとも小形のトンボです。



シマアメンボ
体長は約5mm。B湿地近くの流れに生息
する漂流性の種です。体の背面に鬼の
顔のような黒色のもようがあります。



ホトケドジョウ **VU**
きれいな湧水のある細流や水溜に
すみます。口ひげ4対、体色は黄褐色で、
俗称メナシドジョウといわれています。



ヒメタイコウチ **NT**
体長は約20mm。岡崎市では、ミスグ
ケの生えている浅い湿地に分布して
いて、北山湿地はその代表的な産地
になっています。



ムカシヤンマ
(5月～7月)
体長は約70mm。太くがっしりとした
体を持ち、止まるときは羽をひろげ、
地面や木の幹に体を密着させます。



トラフシジミ
裏面に縞模様があり、表面は光により
青く輝いてみえます。幼虫はフジや
クスなどの花やつぼみを食べ、成虫
は6月に現れます。



アズマヒキガエル
体長120mmにもなる
大形のカエルです。皮膚
に多数のイボがあり、春
にはA湿地でたくさんのおたまじゃくし
(左写真)を観察することができます。



ミカワオサムシ
(4月～6月)
体長は約27mm。銅色や緑銅色の金属
光沢があり、山道を歩く姿がみられます。



キビタキ
(5月～8月)
体長は約14cm。雄の背面は黒色で肩斑
と腰は黄色、翼には白斑があります。



ナガコガネグモ
体長は雌25mm、雄7mmほど。年1回
発生 of 1化性で、秋に多く、巣が湿地
周辺で観察できます。



カナヘビ
体長は約15cm。日本の固有種です。
春から初夏にかけて日当たりのよい
木道などで多くみられます。褐色の
皮膚はザラザラしています。

花のカレンダー

北山湿地の主な植物の開花時期

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
ショウジョウバカマ									
コバノミツバツツジ									
ハルリンドウ									
マキノスミレ									
ツボスミレ									
ナンカイイワカガミ									
タチツボスミレ									
ヤマツツジ									
モチツツジ									
ネコノメソウ									
サワオグルマ									
レンゲツツジ									
アギスミレ									
ネジキ									
オニスゲ									
ヘビノボラス NT									
クロミノシゴリ									
エンシュウムヨウラン									
トキソウ EN									
ササユリ									
バイカツツジ									
クチナシ									
コバノトンボソウ									
ホザキノミミカキグサ									
モウセンゴケ									
トウカイコモウセンゴケ									
ノギリ									
アリウツギ									
ミズギク NT									
ミカツキグサ									
ヒナノジャクジョウ VU									
アリノトウグサ									
ミヤマズラ									
ミズギボウシ									
サワギキョウ									
アキノギンリョウソウ									
サワシロギク									
ムラサキミミカキグサ NT									
ミミカキグサ									
ツルリンドウ									
ムカゴニンジン									
キセルアザミ									
アケボノソウ									
スイラン									
ヒメカンアオイ	12月から								

EN 愛知県絶滅危惧ⅠB類

VU 愛知県絶滅危惧Ⅱ類

NT 愛知県準絶滅危惧

北山湿地

KITAYAMA SHICCHI

案内マップ

■は道先案内の看板です。

H湿地



サクラバハノキ
成木の樹皮はハノキのような割れ目がなく、なめらかです。



D湿地~C湿地



エンシュウムヨウラン
林の下に生える無葉の腐生植物で、腐った落ち葉などから栄養分を取り入れます。



ヤマドリゼンマイ
春に茶色の胞子葉が、緑色の栄養葉に先だって出てきます。



ヘビボラス
初夏に黄色の花が咲き、秋に実が赤く熟します。



サワギキョウ
茎の上部に紫色の美しい花を多くつけます。

I湿地~G湿地



バイカツツジ
花の形がウメの花に似ているのでこの名がつけました。



アケボノソウ
花びらの先にある斑点を夜明けの星座に見立ててこの名がつけました。

北山湿地を代表する苔



オオミズゴケ
北山湿地を広く覆っているのがオオミズゴケで、ここの特色のひとつになっています。



ヒノゴケ
イタチのしっぽのような形をしていて、道ぞいでみられます。



アラハシラガゴケ
白っぽい色を白髪に見立ててこの名がつけました。



ハリミズゴケ
湿地の水道ぞいに生えています。

A湿地



ナンカイワカガミ
A湿地の山肌に群生地があり、白色の美しい花を咲かせます。



レンゲツツジ
朱橙色のツツジとしては大きな花をつけます。



ハルリンドウ
春の湿地を青色の可憐な花でいろどります。



クロミノニゴリ
初夏に白い小さな花をつけ、秋に実は黒く熟します。



マキノスミレ
花は紅紫色で、地面から立ち上がった細長い葉をつけます。



ミミカグサ
湿地内の泥地に生える食虫植物で、黄色の小さな花を咲かせます。



モウセンゴケ
湿地の内部や水分の多い所に生える食虫植物です。



トウカイコモウセンゴケ
東海地方に見られる食虫植物で、湿地周辺に生えています。



ミズギボウシ
青紫色の花を咲かせる、湿地性の多年草です。



ミカツキグサ
多年草で、中間湿地の指標植物にもなっています。
※ミカツキグサとも表記



ムラサキミカグサ
小さなへら形の葉をつけ、紫色の小さな花を咲かせます。



サワシロギク
9月頃に白い花が咲き、のちに紅色に変わります。



ミズギク
湿地に生える多年草で、黄色の花を咲かせます。



キセルアザミ
うつぶいて咲く頭花のようすがキセルに似ているのでこの名がつけました。



スイラン
湿地に生える多年草で、黄色の花を咲かせます。

いもじ池

B湿地~A湿地入口



アキノギンリョウソウ
秋の林の下に生える葉緑体をもたない腐生植物です。



ショウショウバカマ
葉が地表に放射状に広がり、桃色から赤紫色の花をつけます。



ヒナノジャクジョウ
県下には生育地の少ない貴重な植物です。



アギスミレ
花が終わると葉の形がプーランのような形になります。

北山湿地入口

・入口~A湿地680m
・入口~A湿地~尾根道~H湿地~入口(1周).....2,870m

湿地入口~やなが沢池



コバンミツツツジ
白当たりのよい山道ぞいで美しい花をつけます。



ササユリ
葉がササに似ていることがこの名の由来です。



ムカゴニンジン
白色の小さな花を咲かせます。